

## 米国 MesaLabs Bozeman Manufacturing Facility バイオロジカル・インジケータ 懸濁液 Spore Suspension 製品説明書

サスペンション型バイオロジカル・インジケータ (BI) は、アルコール液の中に所定の濃度の胞子をガラスバイアル瓶に入れたもので、その容量は一般に 10ml 程度です。



### 使用目的

サスペンション型BI は、Inoculate 法を用いて滅菌Validation や Monitor を実施する場合や、胞子数を増減させた資料を作成する場合等に使用されます。また、ガラスバイアルが高熱に耐えることができるので、乾熱滅菌器のValidation StudyやMonitoring に使用されることもあります。および滅菌器の諸試験・研究用に使用されます。

### 製品仕様

Inoculate 法等に用いる10ml容量となります。

バイアル瓶に所定の胞子濃度が、40%のアルコールに懸濁された製品です。1バイアル当たり10ml で、表示菌数は 0.1ml 単位で表示されます。

	指標菌	孢子濃度
	<i>G. stearothermophilus</i> (ATCC#7953)	10 <sup>4</sup> ~10 <sup>7</sup> 個
	<i>B. atrophaeus</i> (ATCC#9372)	10 <sup>4</sup> ~10 <sup>8</sup> 個
	<i>B. pumilus</i> (ATCC#27142)	10 <sup>4</sup> ~10 <sup>8</sup> 個
	<i>B. subtilis</i> (ATCC#6633)	10 <sup>4</sup> ~10 <sup>8</sup> 個
	<i>B. subtilis</i> (ATCC#35021)	10 <sup>4</sup> ~10 <sup>8</sup> 個

### 使用方法

10分以上常温に曝される場合には、アイスバスケット等の用意をして下さい。予め滅菌処理されたマイクロ・ピペットや注射器を用いて、必要容量を取り出し使用します。

この場合無菌状態で操作して下さい。

## 判定用培養

研究・試験目的に合わせて培養して下さい。

## 注意事項

バイアルを開栓する際は、無菌状態で操作し、その残分を当該バイアルで保存する際は、無菌性を十分に確保して下さい。

バイアルから胞子を採取する場合は、滅菌処理をした器具を使用して下さい。

## 保存方法（エタノールベース）

冷凍保存 -10~-25℃

## 有効期限

製造後 24ヵ月が当社の定める有効期限です。

## 参考

米国薬局方第 23 局、米国AAMI 規格、米国GMP 規格、欧州EN 規格、及び ISO 規格に合致した製品です。

本製品には、D値やZ値などを示す製品保証書（CofA）が入っています。

更にもその製品保証書にはロット番号や有効期限なども記載されております。

レーベン・ジャパン株式会社  
〒343-0827  
埼玉県越谷市川柳町3-110-8  
TEL : 048-961-1781  
FAX : 048-961-1782  
<http://raven-japan.jp/>